

## 受講生自己紹介

### 森 雄生 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 2年生「グローバル発展コース」

私がGSCOに参加することになったきっかけは先生と友人からの紹介でした。数学や理科にとっても興味がある私はすぐに参加を決めました。昨年度は先取り基盤コース、今年度は先取りグローバル発展コースで活動しています。GSCOでは学校にはないような学習環境や研究施設が設けられており、私と同じような夢を持った仲間と貴重な時間を過ごしています。研究者になるために、私はGSCOでコミュニケーション力や探究力をさらに身につけていきたいです。

先生と友人に感謝の意を表するとともに、この恵まれた環境の中で、進路実現に向けてこれからも自分自身を磨き続けていきます。



### 水野 翔太 島根県立出雲高等学校 2年生「先取り基盤コース」

島根県立出雲高等学校、2年理科の水野翔太です。今年の7月からこのGSCOに参加しています。部活動は男子バドミントン部と自然科学部に所属しています。休日はGSCOがあり、毎回電車で3時間かかり、勉強、部活との両立が大変ですが、楽しく通っています。GSCOでは僕のような2年生は少なく、ほとんど1年生ですが、学年の差を感じることもほとんどなく、僕のような岡山県外の人も多く、様々な話ができて、毎回の講義がとても楽しいです。講義の内容は、質が高く難しい内容ですが、3月、出来ればその後のもう1年間たくさんの友達と頑張っていきたいです。



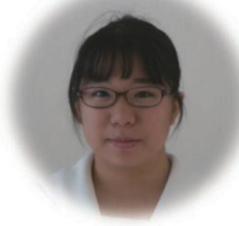
### 山本 雄太 岡山白陵高等学校 1年生「先取り基盤コース」

岡山白陵高校1年の山本雄太です。自分がGSCOに参加したのは、今勉強している科学の色々な分野についてもっと学びたいと思ったからです。自分は科学については3度の飯より、といえるほど大好きです。ですが英語はあまり得意ではないし、人前で話したりするのは、はっきりいって苦手です。このGSCOというプログラムは科学だけではなくそういった力を伸ばすことにも特化していて、そういった点では、「自分に合った」ものだと思っています。高校の勉強を頑張りながら、GSCOでの活動も頑張ろうと思います。ちなみに目標は、物理オリンピックにでることです。



### 大西 優佳 岡山高等学校 1年生「先取り基盤コース」

私がGSCOに参加しようと思ったきっかけは、学校の先生に勧められたからでした。物理、環境、薬学などの分野に加え、英語の講義もあると知り、また元々科学に興味があったので参加を決めました。講義が始まる前までは、内容が難しいのではないかと不安でした。でも、先生は優しく教えてくださるし、グループ活動で班の人と作業できるので楽しみながら学ぶことができます。GSCOで学んだことを将来活かせるように、いろいろな分野について知り、視野を広げていきたいと思っています。



### 末澤 来夢 岡山県立岡山芳泉高等学校 1年生「先取り基盤コース」

私は薬学にとっても興味があったので、それについてもっと知りたいと思い、GSCOに参加することを決めました。GSCOでは、様々な分野について学べると知り、私が興味を持っている薬学以外の講義にも必ず参加するようにしています。どの講義でも、貴重な体験ができ、とても楽しいです。また、他校の人と知り合うことで自分とは異なる考え方に触れることができます。英語の講義では、周りの人の英語力の凄さに毎回驚かされ、私ももっと頑張らなければならないと思います。これからもGSCOで様々な事を学んでいきたいです。



科学先取りグローバルキャンパス岡山(GSCO) 岡山大学次世代人材育成センター  
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中2-1-1 ■Tel: 086-251-7195  
■メール: sakidori@science.okayama-u.ac.jp  
■HP: http://www.science.okayama-u.ac.jp/sakidori/



科学先取りグローバルキャンパス岡山

# News Letter

Science Ahead Global Campus Okayama

2017/10 ISSUE 9

挑戦!夢をこえて

## 「次世代人材育成センター」センター長からのメッセージ

岡山大学は、卓越した意欲・能力を持つ高校生を対象に、将来グローバルに活躍する科学技術人材を育成することを目的として、今年度も「科学先取りグローバルキャンパス岡山」を実施します。本プログラムは、研究・教育活動を通して社会に貢献するという本学の使命に沿って、地域社会と協働して「いつでも・どこでも・どのような課題にも協働で基本からの確に対処できる」科学的能力の育成を図るものです。今年度も多数の高校生が岡山県の内外から参加してくれています。

本プログラムを受講した高校生諸君が、このプログラムを一つの契機として、次世代の世界をリードする科学者へと飛躍することを心より期待します。

岡山大学理事 岡山大学次世代人材育成センター長 佐野 寛



## 「科学先取りグローバルキャンパス岡山(GSCO)」キックオフ 2017/7/16(日)

場所: 岡山大学 創立五十周年記念館

概要: 【開講式】 - 未来の科学研究者を志す君に贈る -

開会挨拶 佐野 寛 岡山大学理事副学長

講演 「新しい理科教育での学びとこころがけるべきこと」

- 科学技術とコミュニケーション -

講師: 天野 徹 島津製作所 顧問 (元 JST 審議役)

座談会 「“研究者”を目指す高校生に有効な学修支援とは？」

閉会挨拶 味野道信 次世代人材育成センター副センター長



### 【先取りグローバル発展コース生の感想】

◆論理的に説明するだけでなく、科学者の「みる」という力が大切だということ学んだ。また、迷わず自分のやりたいことを極めること、積極的に様々なプログラムに参加することも重要だと感じた。

### 【先取り基盤コース生の感想】

◆科学技術は、コミュニケーションをとる必要と知り、データをきちんと集め、それを周りに発信していく力を身につけていこうと思った。

◆座談会では、自分たちを教える立場の人たちの意見を聞くことができ、とても新鮮で、教育を受ける側として、教育の受け方の新しい視点を手に入れられたと思った。





## 「先取り基盤コース」合宿研修

【年月日】2017/8/15(火)~8/16(水)  
 【場 所】兵庫県立大学西はりま天文台（兵庫県佐用郡佐用町）  
 SPring-8（兵庫県佐用郡佐用町）  
 【概 要】[1日目] 天文講義 / なゆた望遠鏡の見学 / 夜間観望会  
 [2日目] SPring-8 見学



【講師コメント】  
 基盤コースと発展コース合わせて63名の受講生で、2つの施設の見学と、空いている時間にグループに分かれて環境対策の討論と討論結果の発表を行った。西はりま天文台には、口径2mで日本国内最大を誇る「なゆた望遠鏡」があり、天文学の講演を聴講するとともに夜はその望遠鏡で土星を観察した。SPring-8ではSPring-8とX線自由電子レーザー施設(SACLA)を施設の説明を受けた上で見学した。SACLAでは世界トップの機能を有するので、世界中から研究者が分析のためにやってくるのであった。施設紹介ビデオの中に光合成研究で有名な岡山大学の沈教授が紹介されていて、インパクトがあったようだ。(河原 長美)

【受講生の感想】  
 ◆天文学や宇宙への興味が更に増した。宇宙には自分達が想像できないような、とてつもないスケールのもので沢山存在している。それらを観察し、謎を解き明かすのは楽しいことだろうなと思った。普段は余りにしていない星空が、とても綺麗で感動した。天体観測にどっぷりハマりそうである。  
 ◆天文学者に憧れていたので凄く楽しみて話を聞かせて頂いた。宇宙の世界観には、やはり感動した。今回の講義では、将来の夢に少しでも役に立てよう、先生の言われることを逃さないよう努力した。  
 ◆今まで研究等には興味があっても、具体的な考えや現場のことは何一つ知らなかったが、日本の最先端の研究施設を見ることで深く考えることができた。今回の合宿の経験で何か成長できた気がする。



## 「先取りグローバル発展コース」学会発表

JpGU-AGU Joint Meeting 2017参加  
 【地球科学グループ】

【年月日】 2017/05/21(日)  
 【場 所】 幕張メッセ国際会議場（国際会議場 2F）  
 【概 要】 高校生ポスター発表  
 研究テーマ「統計学とコンピュータで探る地震変動地形」  
 （発表者：地球科学グループ4名）



【講師コメント】  
 JpGU-AGU Joint Meeting 2017に参加し学会発表を行った。受講生は規模の大きい国際学会へ参加し、他の高校生や研究者と意見交換を行った。さらにJAXAやJAMSTEC、NASA等を含む出展ブースで最先端の科学技術を学習した。科学者として良い経験になったと思われる。(山川 純次)



【受講生の感想】  
 ◇今回は、研究に対する新たな見方をより多くの人前で発表することで深めることができた。  
 ◇英語での「45秒アピール」では、英語を使う訓練に、より力を入れなければならぬと痛感した。  
 ◇実験の確実性を示したほうが良いなど、有意義な意見を頂くことができた。

## 「科学先取り岡山の会」(同窓会) 開催 2017/8/11(祝・金)

◆「科学先取り岡山コース」・「科学先取りエクスプローラーコース」・「科学先取りグローバルキャンパス岡山GSCO」などの岡山大学のプログラムに参加したことのある受講生(OB・OG)の情報交換会  
 ◆卒業生(2名)のプレゼンテーション

【講師コメント】  
 やー田口さん、やー藤原君、8月11日に開催された「科学先取り岡山の会」は岡山大学が主催した数々のプログラムに参加した生徒をまとめた同窓会である。先に掲げた人たちは今や大学の博士後期課程に相当し、他に実社会に出て活躍している人も多いことであろう。頼もしい限りである。  
 同窓会ってどのような目的をもって開催されるのだろうか。先生たちの懐古? いや、いや、同窓生たちのネットワーク作り、新たな自分に活性化するためのきっかけ作りなのです。いずれにしろ、同窓生同志は現実以上にお互い親しみを感じるものです。同じ場所で学んだ、いやそれより、同じ志をもって苦しみながら学んだ、このことが互いをそのような状況に導いてくれるのかもしれない。何でもよい、親しい人たちが周りにいるのは楽しいし、その人の財産です。何かの仕事、何かの研究で将来ふと巡り合った同窓生とともに活動するのは心地よいものです。今回の同窓会に出来なかった人も連絡が出来る情報をください。そしてともに利害の無い状況で、大いに盛り上がりましょうではありませんか。早くも次の機会が待ち遠しくなりました。  
 やー、〇〇さん、おーい、〇〇君!(原田 勲)

【受講生の感想】  
 ■実際に私たちと同じ体験をしている先輩方のお話だったので、とても説得力があり、いい刺激になった。私もこんな先輩になりたい、と思ったので、これから頑張っていきたい。  
 ■先輩方がここでの経験を活かし、研究に従事したり、大学で活躍したりしていることを知り、今までより更にここでの学習を大事にし、思考力を伸ばしていきたいと思った。  
 ■二人の先輩方の講演では、専門的な知識も紹介して頂いた。特に医学の左右非対称の話に興味を持った。これからも興味の幅を広げていきたい。



## 「先取り基盤コース」企業訪問

【年月日】2017/08/10(木)  
 【場 所】岡山県工業技術センター  
 (岡山市北区芳賀)



【受講生の感想】  
 ◆様々な企業の方や岡山県工業技術センターの技術者の方が、技術を発展させるため、或いは人々の役に立つ何かを作り出すために、技術に関する研究を行っているという熱意を感じた。  
 ◆今まで、大学や企業ではないところで働く科学者というものを知らなかった。見せて頂いた設備はどれも非常に興味深く、将来の進路の選択肢の一つとして自分の中に残った。  
 ◆残響室と無響室の反対の効果の部屋に連続して入ったのは、貴重な体験だと思った。

## 旭川協働調査に参加

【年月日】  
 2017/8/4(金)~8/6(日)  
 【概 要】  
 講義：市民参加型調査の意義  
 実習：河川調査の基礎  
 魚類の同定

【受講生の感想】  
 ■帰納や演繹の話は少し難しかったが、仮設・反証の話は興味深かった。  
 ■様々な人々(大学生・一般参加者)と交流を持つことができて、参考になった。市民と専門家が一緒に調査することに意味があることが分かった。

